



未来の医療を担う若者たちへ

御津あおばな看護専門学校 積善病院 見学・体験会 活動報告

2026年実施報告

現場の仕事を「肌で感じる」一日

先日、地元の御津あおば高校の生徒をお招きし、医療現場の見学・体験会を開催しました。
教科書だけでは学べない「病院のリアル」を体験することが目的です。



御津あおば高校
生徒様

WHO
高校生



WHERE
院内全域



WHAT
職場見学・
業務体験



積善病院

医療安全の基本：正しい手洗い体験



医療・介護の現場で最も重要な「衛生管理」。普段の手洗いでは落ちていない汚れを視覚化し、プロフェッショナルの衛生基準を学びました。

感染対策の基礎

力まかせにしらない、プロの介護技術



ベッドからストレッチャーへの移動体験を実施。

力だけでなく、便利な介護用品（福祉用具）を適切に使うことで、**患者様と介助者双方の負担を減らす「工夫」**を体験しました。

Takeaway: 技術と道具の融合

医療を支えるのは、医師と看護師だけではない



調理室



治療の一環としての「食」を提供する専門職。



昼食時には多様な職種スタッフが加わり、
それぞれの「仕事のヒミツ」や役割について語り合いました。

地域を守る人材へ：認知症サポーター養成講座



午後のプログラムでは、地域で生活する認知症の方やそのご家族を支えるための講座を受講。地域づくりに貢献することの大切さを、生徒たちは真剣な表情で学んでいました。

重要：正しい知識を持つこと

参加した高校生の声

「病院には、想像以上にたくさんの職種の人が関わっていることが分かりました。」

「ただ力があるだけだと思っていたけれど、介護の道具や工夫に驚きました。」

交流を通して、医療・介護の仕事に対するイメージが具体的で前向きなものへと変化しました。



地域の若者たちの夢を応援する

積善病院は、これからも「開かれた病院づくり」を目指します。
地域の未来を担う若者たちが、医療や介護の道に興味を持ち、
夢を描けるような機会を提供し続けてまいります。